



インスピレーションになろう

Weekly Report

2019 / 3.8 Vol.32

2018-2019



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



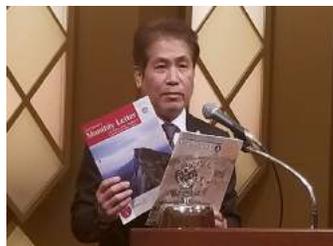
会長:村上義憲 幹事:磯崎裕騎 会長エレクト:島谷隆 副幹事:植田真治 S.A.A.:低田陽介 創立/1969年4月14日 承認/1969年4月23日 チャーターナイト/1969年11月9日 発行/IT・広報委員会

今週のプログラム	第2408回	3月8日
周年記念行事会場見学会		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2407回	3月1日
フリートークデイ		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



村上会長挨拶



磯崎幹事報告



50周年記念事業委員会加藤委員長



米山奨学生:高媛さん挨拶

村上会長挨拶

・早いもので、今日から三月です。桜の開花予想が出されていましたが、暖冬もあり今年は少し早いようです。高知や松山は、3月20日頃から開花するようです。高松は少し遅れてその後25日頃との予想です。

今日の週報に、我が高松西ロータリークラブの50年前に行われたチャーターナイトのスナップや、その5年後の5周年記念式典のことなどを掲載いたしました。ぜひ目一度を通していただきたいと思います。5周年の記念事業は今も立派に残っています。西宝町の旧11号線の三叉路交差点のグリーンベルトに楠を8本植樹しております。今日も通った時に見ましたが、西側の3本のクスノキは、枝打ちをして葉も少なく少し寒そうな感じでしたが残りの5本は緑の葉に覆われていました。時間があるときに、過去の記念事業を振り返って見に行こうと思っています。今日は、50周年に向けての例会となっていますのでよろしく願っています。

今週のプログラム

- ・50周年記念委員会
加藤委員長より進行報告
木内総務委員長より進行表、役割表の説明

3月8日 今日は何の日	今日生まれの有名人	
エスカレーターの日/国際女性デー	1997年 松井珠理奈	1922年 水木しげる
0702年 日本初の度量衡を実施	1943年 はらたいら	1919年 水上勉
1935年 忠犬ハチ公、没	1934年 宮尾すすむ	1886年 松井須磨子
誕生花	母子草(ははこぐさ)、花言葉は“いつも思っています”	
誕生石	パール(Pearl)、宝石言葉は“健康・長寿”	

磯崎幹事報告

- ・ロータリーの友、ガバナー月信が来ております。お持ち帰り下さい。

委員会報告

- ・五木会が3月11日 月曜日 19時からあります。
- ・米山委員会
奨学生が今日で最後です。例会終了後、歓送会をやりまます。是非ご参加下さい。
- ・石井会員
野球部の総会、決起会を兼ねて行います。

メイクアップ

- 2月22日 ワールド大阪ロータリーEクラブ 佐久間
- 2月26日 高松東RC 池上 山崎 伊藤 江島
- 2月26日 高松中央RC 石井 泉谷 伊藤 江島 岩本 松下 藤田 香西 山崎
- 2月26日 丸亀東RC 岡田(和)
- 2月28日 高松RC 池上 香西 山崎 江島 岩本 浅原 福本 岡村 石丸 辻 藤田

それでこそロータリー
どこで会っても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
[http://www.88club.com/rc/2017pdf/03-08 .pdf](http://www.88club.com/rc/2017pdf/03-08.pdf)

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

米山奨学生の高媛さん送別会スナップ



ニコニコBOX

今日娘が高校を卒業しました。	岡田(和)
娘が桐朋学園大学ピアノ専攻に合格しました。	吉岡
妻にプレゼントを頂いて。	小竹
誕生日プレゼントありがとうございました。	低田
誕生日プレゼントありがとうございました。	遠藤
遅刻・早退	4件

合計 9 件

本日 の 合計	21,000 円
2018-2019 年度 累計	921,500 円

出席報告		出席委員長：長尾和樹	
会員数 /	58 名	出席規準数 /	55 名
出席者数 /	31 名	欠席者数 /	24 名
出席率 /	56.36%	ビジター /	0 名
最終出席率 /	2 月 15 日	46.30% →	70.37%

例会変更

3月12日(火)	高松東RCは3月9日(土)12:30綾歌総合文化会館(アイレックス)IM参加に変更
3月12日(火)	丸亀東RCは3月9日(土)アイレックス/IMに参加に変更
3月12日(火)	観音寺東RCは18:30に変更
3月14日(木)	観音寺RCは観音寺グランドホテルに変更
3月15日(金)	さぬきRCは3月9日(土)12:30綾歌総合文化会館アイレックス/IM参加に変更
3月22日(金)	さぬきRCは休会
3月26日(火)	高松東RCは休会
3月27日(水)	坂出東RCは夜間例会/50周年に向けてに変更
3月28日(木)	観音寺RCは観音寺グランドホテルに変更
4月 4日(木)	高松グリーンRCは3月30日(土)11:30神明殿/花見家族例会に変更

RI会長からのメッセージ (3月)



2018-19年度会長 バリー・ラシン

国際ロータリー(RI)会長を務める中で、私が何より心を打たれるのは人々との出会いです。私は世界中を旅して各地のロータリークラブを訪問することに多くの時間を費やしています。ロータリアンはとても温かく歓迎してくれます。しかし、さらに熱烈に歓迎してくれるのは、何といてもローターアクターたち。ロータリーの理念を信じ、その思いを奉仕に込め、さらに楽しむことを忘れない青年たち、それがローターアクターです。

最近最も印象深かったのは、ガーナで 60 ものローターアクトクラブがある地区を訪れたことです。皆、現状の数に決して満足しておらず、倍增計画を立てていました。彼らなら達成してくれることでしょう。

ローターアクターたちは子どもたちにポリオワクチンの接種を行っています。血液が危機的に不足しているところでは献血を行っています。子どもたちが手を洗うための施設がなかった学校には、手洗い場を造っています。つまり、変革的な奉仕——地域社会に真の変化をもたらすプロジェクトを実施しているのです。

ウガンダのナキバレで、あるローターアクトクラブが地域社会に変化をもたらす活動を行っています。その地域社会とは難民居住地。この若きリーダーたちは、他の人なら不利な状況と見るところに奉仕の機会を見だし、地域社会を築き、新しい可能性を切実に必要としている人たちのために、その道を切り開いています。

トルコでは、ローターアクターたちが毎週水曜日に病院を訪れ、入院中の子どもたちとゲームをして彼らを元気づけています。また、大学の新生のメンターとなり、リーダーシップスキルを教えています。

ローターアクターは、この奉仕の第 2 世紀にロータリーが存在意義を高める道を切り開いているのです。世界ローターアクト週間(3月11~17日)には、ぜひ地元のローターアクターたちと知り合い、皆さんのロータリークラブと一緒に活動できるか話し合しましょう。所属クラブがまだローターアクトクラブを提唱していない場合、大学が近くになくても大丈夫です。地域を基盤とするローターアクトクラブという素晴らしい選択肢があります。そして、ローターアクターはロータリー家族の一員であることを忘れてはいけません。

ローターアクターがローターアクトクラブを卒業しても、ロータリー家族まで卒業することは私たちの本意ではありません。全てのロータリアンへのお願いですが、ローターアクターが既存のロータリークラブへの入会、または新しいクラブの結成にスムーズに移行できるように、力を貸してあげてください。世界を少しでも良くしようと活動するための心地の良い居場所が必要とあれば、私はいくつでも新クラブの創立を承認します。奉仕は楽しいもの、人にインスピレーションを与えるもの、誰でも参加できるものでなくてはなりません。

ロータリーが昔から優れていたことがあるとすれば、それは多様性です。かつて、「多様性」はしばしば職業、国籍、考え方の多様性を意味していました。今や、年齢と性別の多様性も大きな進歩を遂げました。そして、さらに多くのローターアクターをロータリーへと迎え入れていけば、多様性はさらに高まっていきます。

ロータリーは強大な存在です。ローターアクトと力を合わせれば、まさにとどまるところを知りません。手を取り合えば、世界中で、出会う全ての人のインスピレーションになる可能性があるのです。



高松西ロータリークラブ
創立50周年まで

37日

50年を振り返って

10周年記念誌より

10周年記念式あいさつ 記念委員長 逸見 金蔵

このたび高松西ロータリークラブ創立10周年記念日を迎えますことは、我々にとりましては、まことに感慨深いものがあります。

顧みますと、昭和49年4月に5周年記念の行事をしましたときは、「これからは、創立からの5年間に比べると、より順調にいくであろう」と、お互に何か楽観視していたように思います。

ところが、その前年に勃発した、石油の大巾値上げに端を発した、世界経済の混乱が、短期には解決されず、むしろ時の内閣の政策とも相俟って、それまでの高度経済成長のヒズミが、一気に表面化されるようになりました。

私達も例外なしに、その渦中に巻き込まれ、急激な経済の変化より自己を守るのに、四苦八苦致しました。その間ロータリーの Service Above Self や He Profits Most Who Serves Best. 並びに“4つのテスト”だけでは、激動する経済に対応するには、余りにも貧弱で、甚だ心もとない感じがしていました。僅かに週一回の例会に於て、会員同志がいたわり合い、励まし合って、各自各自が毎日の一つ一つの事柄を、少しでもロータリー的に、解決をしていく努力を積み重ねる以外に、手段はありませんでした。

ところがこのような経済の混乱から引きおこされた不況は、一般の期待に反して、なかなか立直らず、むしろ長期化し、且深刻化するに従って、当初は弱いと思っていたロータリーの努力の積み重ねが、究極では不況を乗り越える最も効果のある手段であったと、気がつき始めるに従って、お互に企業の難問を乗り越える自信のようなものを、ようやく持つことが出来るようになり、昨今では夫々に自信をもって、事業に励げんでいる次第であります。

今振り返って見て、この苦しい間に、会員の中より脱落する者も無く、今白も皆が何も無かったかのように、明るく10周年記念式を迎えていますことは、何よりのことよこばしく思っております。

この5年間のクラブ運営につきましても、景気の停滞が多分に影響を及ぼし、当初期待していた程の、成長を遂げることが出来ませんでした。然しこのような時こそ、職業奉仕の理念を、今一度掘りおこして研究すべしと、職業奉仕委員会に4つの小委員会を設けたり、社会奉仕を振興させる為に、社会奉仕委員会にも小委員会を置いて、その可能性を探ぐる等、その時その時の指導者の努力により、クラブ内は和気あいアイの裡に、活気は失なわれず、おかげで、出席率やR.I.財団寄附等、数字に表われることは勿論、その他のクラブ活動は、全体として平均を上廻る成績を挙げることが出来たように、思っております。

又部外に対する奉仕の実践につきましても、苦しい中で豊島神愛館に対する新しい奉仕を始めたり、肢体不自由児に対するチャリティー合唱会への支援を続け、又弦打青年団との接触を深めて、青年活動の順調な発展をそれとなく援け、又、国際的にも、その前から実施していた、韓国牙川国民学校への交流を昭和51年まで、通算6ヶ年も続けた等、数々の業績を残すことが出来たことは、総てクラブ内の盛り上げる熱意によるものであって、心からよろこんで良いことかと、思っております。

唯、まことに残念なことは、当クラブ3代目の会長を勤められた、岡崎時則君が、病の為に亡くなられたことで、岡崎君が常にクラブの中心的立場におられ、何彼と私達を引っ張っ

て下さっていただけに、クラブにとって大事な指導者を失ったという感じが、今も尚残っています。茲に深くご冥福をお祈り致します。

さて当クラブもいよいよ満10才を迎え、人生で言えば、最も成長する時機にさしかかった訳であります。私達お互に、今まで以上に、奉仕の観念を、各自の職業や、日常生活に於て、実践に移すことは勿論、クラブとしても、これを機会に、今一度過去を反省し、直すべきところは正し、のぼすべきところは発展させ、良いと思うことは、その結果を惧れずに実行に移し、今のまゝ小さく固まることなく、より活動的なクラブに成長させるよう、お互に決意を新たにしたいものと思っております。

今後とも、来賓の方々に始め関係各位に、今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致しまして、10周年記念のごあいさつと致します

10周年記念事業

- | | | |
|--------------|------|----|
| 高松市庁新庁舎玄関前 | 黒松1本 | 寄贈 |
| 鬼無小学校ロータリー文庫 | 金1封 | 寄贈 |
| 米山記念奨学会 | 金1封 | 寄贈 |



以上3件の記念事業を行いました。この外、新庁舎玄関前の黒松については年度当初より、アンケートをとったり、情報を収集したりしながら最終的に決定をみたものですが、この決定後、交渉にかかりますとなかなか難しい問題も多く、これを一つづつ解決し、実現したものであります。この他、記念事業につきましても会員皆様の協力を得て実現出来たものであり、つくづく友情の強さと申しますか友達とは実に有難いことだと感じさせられました。

この気持がいつまでもつくづく様に黒松も高松のシンボルとして幾久しく市民の皆様に愛されます様祈念致します。

会員のことば



入会2年生 岡田 定雄
1976年9月1日入会

入会して2年半になるが、やっとロータリアンとしての自覚が出来、本当に入会して良かったと思う。今後益々努力したく思う。



私のR.C. 加藤 和理
1977年8月19日入会

これ迄、私にとって縁の薄かった奉仕の実践の機会を与え、更に多くの友人知人を得る場を与えてくれた所。高松西R.C.・・・。



友情と奉仕 石川 洋介
1979年1月1日入会

「真のロータリアンとは何か」一人の人間としても、ロータリアンとしても、まだ未熟な私だが、この課題を生涯追い求めてみたい。

次週のプログラム 第2409回

3月15日

50周年記念行事準備会

担当者 プログラム委員会

例会場 J Rホテルクレメント高松